



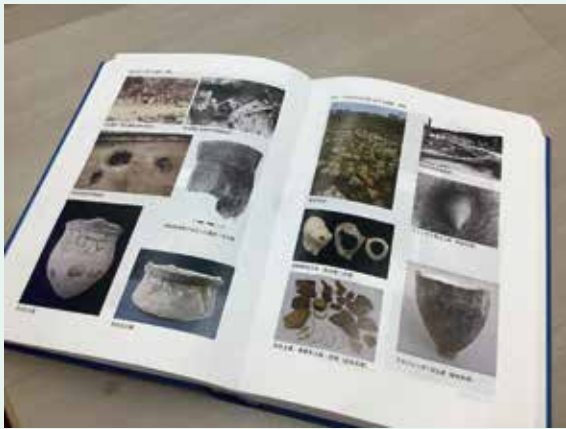
土器調査のようす

第1部、第2部では琉球列島や沖縄県の特徴を踏まえ、先史時代から近世・近代の恩納村がどのような状況だったのか、人々がどのように暮らし、どのような文化をもっていたのかを、その時代の遺構や遺物を通して紹介しています。第3部は貝や骨などの自然遺物を整理し、そこから見えてくることを解説しています。中でも実験考古学は現在生息する貝を採り、調理し、食べて、遺物の貝と比較し、当時の生活や環境がどのようなものだったかを検証するという、意欲的な内容となりました。第4部は各行政区の遺跡を紹介しています。地域の遺跡を知るにはこちらから調べてみるのも面白いと思います。さらに第4部では沖縄戦を伝える戦争遺跡も紹介しました。その中には、村内の小中学校の平和学習で活用されている遺跡も含まれています。

本書は文化情報センターをはじめ、各公民館、各小、中学校に配布する予定です。また、役場総務課及び博物館で3,000円にて販売予定です。多くの村民のみなさまに恩納村の遺跡を身近に感じていただき、教育現場や地域活動で活用していただければ幸いです。

村史編さん係では今後もさまざまな分野の編集を行います。現在、調査や資料収集を行っている分野は「戦争編」「歴史編」「民俗編」「芸能編」「言語編」「人物編」「産業編」です。「戦争編」は次に刊行する予定となっています。村民の皆さまが経験されたこ

と、継承されていることを記録していく村全体の大きな事業です。村民の方々のご協力なしでは進めることができません。今後ともよろしくお願いいたします。(幸喜)



考古編は 600 頁のボリュームです。是非、お手に取ってご覧ください。

販売についてのお問い合わせ

恩納村史編さん係 (恩納村博物館)

☎982-5112

※販売は3月下旬です。



左は 1980 年に刊行された仲松弥秀著の『恩納村誌』(2,000 円)

右は 2014 年刊行の「自然編」(3,000 円) です。

こちらも文化情報センターや各学校、公民館でご覧いただけます。